

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 相澤 牧人

「奴隷の幸せ」

—日本国憲法第九条を守る意味—

管区事務所総主事 司祭 ヨハネ 相澤牧人

奴隷の幸せ (?), 奇妙な言葉です。その意味は、「お上は間違ったことはしない、という人任せの政治観の先にあるものこと」だということです。自分の意思で決めるということの大切さを訴えているのだと思います。

7月21日に参議院選挙が行われることになりました。今回の選挙は、大切な意味を持つでしょう。日本がどこに向かっていくのか、ということに影響を与えられています。選挙結果によっては憲法の改正(改憲)が扱われそうです。それゆえに、有権者は投票によってその意思を示すことだと思います。選挙権のない方は、自分の思いを様々な形で有権者に伝えてほしいと思います。殊に若い方々は、もし、憲法を変えて、戦争ができる国へと舵を切るならば、自分の命にも関わることになるからです。

しかし、教会で政治のことは…と躊躇したり、避ける声も聞きます。でも、政治は暮らしにつながっているし、自分の命や人の命を左右することにも関係していきます。教会は、それは政治の問題であると避けるのではなく、命の問題と捉え、キリスト者としてその意思を示していくことが必要なのではないのでしょうか。(政党のことを言っているわけではありません。)

今、憲法に関することが議論され続けています。大切な問題です。日本は平和憲法(9条)があるゆえに、現実との矛盾を抱えながらも、その憲法制定以来、戦争で一人も殺しもしないし殺されてもいないという尊い事実があります。日本国憲法は、戦争はしないと明確に意思表示しているのです。このことは世界に対して大きな「発言」となっているのではないのでしょうか。ある人はこれを「憲法9条の軍事戦略」と表現しています。

もう戦争はしない、もう侵略はしない、という戦略をもって、平和を構築しようとしているということです。

「宗教者九条の和」(事務所:日本山妙法寺)という働きがあ

□会議・プログラム等予定

(6月25日以降および
前回報告以降追加分)

7月

- 1日(月) 東日本大震災各教区対策本部担当者会〔日本聖公会センター1階ホール〕
- 3日(水) 財政主査会〔管区事務所〕
- 5日(金) 法憲法規委員会〔管区事務所〕
- 8日(月) 青年委員会〔管区事務所〕
- 9日(火) 正義と平和委員会〔京都教区センター〕
- 10日(水) 常議員会〔管区事務所〕
- 11日(木) 礼拝委員会〔管区事務所〕
主事会議〔管区事務所〕
- 18日(木) 聖公会・ルーテル教会協議会〔管区事務所〕
- 18日(木) 原発と放射能に関する特別問題プロジェクト準備会〔管区事務所〕
- 19日(金) 原発と放射能に関する特別問題プロジェクト〔管区事務所〕
- 19日(金) 原発問題特別プロジェクト〔管区事務所〕

<関係諸団体等会議・他>

- 6月27日(木)～28日(金) 外キ協(外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会) 全国運営委員会〔韓国YMCA〕
- 7月10日(水) NCC 常議員会
- 18日(木) エキュメニカル協働委員会
- 25日(木) 世界教会協議会(WCC) 日本代表者会〔管区事務所〕
- 7月31日(水) 生野センター理事会〔生野センター〕
- 8月12日(月)～16日(金) 日韓聖公会青年セミナー2013〔韓国・釜山〕

(次頁へ続く)

★管区事務所夏期休業

8月12日(月)～8月16日(金)の間夏期休業いたします。よろしく願いいたします。緊急の場合は総主事まで連絡ください。

ります。「憲法九条を輝かせたい」との願いのもと、宗教者が一つになって行動しているものです。仏教、キリスト教の多くの宗派・教派の方が名を連ねています。その中から今度は、96条(憲法改正の手続き)の改憲に反対し、9条(戦争の放棄、戦力不保持、交戦権の否認)を守ろうという働きが開始されました。その発足集会在5月29日に東京で行われました。呼びかけ人には、聖公会からは現在3人の主教さんと私が名を連ねました

が、そこに神社の宮司さんの一人が名を連ねたのです。これはいろいろな意味で驚きでした。と同時に、命を貴ぶ宗教者の根底に流れる思いの一致がまた一つ高まったのではないかと思います。(今も賛同者を求めています。)

宗教者が一つになって声を出すこと、これは大きな力となると思います。宗教者は、いのちを大切にすること、平和を実現していくということ、そして、それに否ということに対しては正していく使命が与えられていると思います。

呼びかけ人の一人になられた谷昌二主教は、発足集會に次のようなメッセージを寄せられました。「“あなた方に平和があるように(ヨハネ20:19)”主イエス・キリストは、十字架に命をささげてまで、選民イスラエル国家よりも、人間一人ひとりの命が、神の前で無条件に、無限に尊い

(前頁より)

19日(月)～22日(木) 第2回日本聖公会女性会議〔京都教区センター〕

22日(木)～23日(金) 聖公会関係学校協議会〔立教大学〕

ことを示し、世界平和への道を開いてくださいました。日本国憲法は、この真理を見事に現した奇跡的な憲法だと、私は信じています。これを覆すことは、自らの首を絞めることになることを為政者は知らなければなりません。国家のために、国民だけではなく自らを、子々孫々にいたるまで縛ることになるのです。この暴挙を、どんなことをしても止めなくてはなりません。力を合わせましょう。」

今のこの時、私たちは「奴隷の幸せ」に陥らず、命を貴ぶ社会を作り上げ、それを継続していくために、自らが考え、行動していきたいものです。キリスト者として、そして、神の国の実現のために。

□各教区

北関東

- ・宣教部主催茨城伝道区みことばの礼拝研修会 7月20日(土) 水戸聖ステパノ教会

東京

- ・教役者宿泊研修会 7月1日(月)～3日(水) 場所:箱根スコレプラザホテル 主催:主教座聖堂活動委員会 協力:聖職養成委員会 主題:「主教座聖堂を考える」

中部

- ・可児伝道所 7月20日(土) 可児伝道所プレハブ建物落成式 住所:〒509-0207 可児市今渡 1012-1

大阪

- ・ハンセン病についての研修会 6月23日(日)

16時 教区成立90周年記念 大阪聖パウロ教会

神戸

- ・広島平和礼拝2013 8月5日(月)・6日(火) 場所:広島復活教会 行事:祈りのつどい、平和行進、平和祈願ミサ、(希望者)碑めぐり、原爆資料館見学 問い合わせ:「広島平和礼拝実行委員会事務局」へ。申込締切:7月9日(火) 必着

沖縄

- ・第57(臨時)教区会 2013年6月15日(土) 13時～15時 沖縄教区センター ベッテルハイムホール 議題:(1)基本財産変更の件(主教座聖堂隣接地購入)(2)2013年度日本聖公会沖縄教区一般会計補正予算(案)承認の件

□関係諸団体

あること～聖公会学校の原点を確かめる～」

日本聖公会社会福祉連盟

・第54回大会・研修会 7月11日(木) 13時
～13日(土) 12時30分 場所：川口基督
教会 テーマ：『教会と地域福祉』



日本聖公会関係学校協議会

・第56回聖公会関係学校教職員研修会 8月
22(木)～23日(金) 場所：立教大学池袋
キャンパス 主題：「一人ひとりの存在と共に

†逝去者 霊魂のパラダイスにおける光明と平安
を祈ります。
司祭イグナシオ柴田通三(東京教区・退職)
2013年6月9日(日) 逝去(96歳)

公 示

救主降生 2013年6月28日
日本聖公会
首座主教 ナタナエル 植松 誠 ㊤

神のお許しがあれば、
主教被選者 ダビデ 上原榮正の主教按手式並びに日本聖公会沖縄教区主
教就任式を下記のとおり執行いたします。
日本聖公会に属する聖職、信徒の代祷を求めます。

記

日時 2013年9月7日(土)午前10時30分
場所 北谷諸魂教会
〒904-0105 沖縄県中頭郡北谷町字吉原101
(祭色は白を用います)

以上

《人 事》

東北

聖職候補生 アタナシウス 佐々木康一郎

2013年4月20日 執事に按手される。

横浜

執事 パウロ眞野玄範

2013年5月31日 司祭に按手される。

司祭 パウロ眞野玄範

2013年5月31日付 長坂聖マリヤ教会副牧師に任命し、管理
牧師主教ローレンス三鍋裕のもとで勤務す
ることを命ずる。

聖職候補生 ヨナ眞栄田 肇

2013年5月31日 執事に按手される。

執事 ヨナ眞栄田 肇

2013年5月31日付 福田聖公会牧師補に任命し、管理牧師司
祭マルコ河崎望のもとで勤務することを命

		ずる。
	2013年5月31日付	柏聖アンデレ教会協働を命ずる。
司祭 ラファエル宮崎 仁	2013年5月14日付	島田伝道所協働司祭の任を解く。
司祭 清家智光	2013年6月1日付	長坂聖マリヤ教会嘱託を解き、主教座聖堂の嘱託とする。
司祭 バルナバ 大野清夫	2013年6月30日付	伊豆聖マリヤ教会管理牧師の任を解く。
主教 ローレンス 三鍋 裕	2013年7月1日付	伊豆聖マリヤ教会管理牧師に任命する。
東京		
執事 クララ 佐久間恵子	2013年3月31日付	聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂協力執事解任。
中部		
司祭 テモテ土井宏純	2013年5月31日付	新生礼拝堂管理牧師の任を解く。
司祭 イグナシオ丁 胤植	2013年5月31日付	飯山復活教会管理牧師の任を解く。
司祭 テモテ島田公博	2013年5月31日付	新生礼拝堂主日勤務を解く。
司祭 ヨシュア鈴木光信	2013年5月31日付	新生礼拝堂主日礼拝協力を解く。
執事 ヨセフ石田雅嗣	2013年6月1日	司祭に按手される。
司祭 ヨセフ石田雅嗣	2013年6月1日付	新生礼拝堂牧師、飯山復活教会管理牧師に任命する。
司祭 テモテ島田公博	2013年6月1日付	司祭イサク伊藤幸雄のもとで、直江津聖上智教会主日勤務を命じる。
大阪		
聖職候補生 ヤコブ義平雅夫	2013年5月18日	執事に按手される。
執事 ヤコブ義平雅夫	2013年5月18日付	東豊中聖ミカエル教会牧師補に任命する。
執事 オーガスチン関川頌康 (旧名 浩昭)	2013年6月10日付	願いによって退職を許可する。

2013年 大韓聖公会出身教役者の集いに参加して

九州教区 鹿児島復活教会 牧師 司祭 ヨハネ 李浩平

去る5月13日から15日まで、大韓聖公会出身教役者の集いが東京で開かれました。現在大韓聖公会出身として日本聖公会で働いている教役者総数18人の中13人、そして大韓聖公会ソウル教区の教務局長1人、全部で14人が参加して、夜昼なしに“どんちゃん騒ぎ”のような3日間を過ごしました。久しぶりに再会した「韓国

人の同僚たち」と共に、いろんな話題において深く長くお話しすることができる嬉しい時間でした。今度のこの集いの中での私たちの経験をご報告いたします。

1) 東京教区を見学しました。東京教区教区事務所を訪問し、教区事務室、カパティラン事務室などを見学しました。各部屋から聞こえてくる

元気な声々、忙しく働いているスタッフの方々の熱気を帯びた姿を拝見し、感心しました。また教区主教室の中に招き入れ、手ずから備えられた茶菓子を励ましのお言葉と共に皆に与えてくださり、東京教区の宣教方向について、親切に詳しくプレゼンテーションして下さった大畑喜道主教様の謙虚さと熱情で溢れる姿に深く共感し感銘しました。

2) また、私どもの故郷であります大韓聖公会についての消息を伝え聞くことができました。ソウル教区の教務局長朴司祭から、ソウル、デジョン、プサン各教区の宣教状況などについて聞き、一緒にお祈りし応援することを約束しました。特別に嬉しかったことは、最近ソウル教区で出版されたいろんな宣教・教育学習資料などを日本でも活用できるように積極的に支援してもらえるようになったということでした。著作権などを考えずに、一緒に神の国を向いて走っている同僚として、惜しまず兄弟愛を見せてくださったことに感謝しています。将来の楽しみです。

3) 何よりも、私たちは3日間夜遅くまで眠らず起きて、互いの牧会現況や牧会上の悩み、個人的な悩みなどを深く分かち合うことができました。各自が本当に自分の牧会現場で自分なりの最善を尽くしていることを分かり合い、認め合

い、慰め合い、励まし合い、忠告を快く受け入れ、どのような形ででも支えてあげようとするので、「たった3日では足りない!」と図々しくも思ってしまうくらい幸せでした。皆が水を得た魚のように生き生きとしました。とにかく私たちは笑いさざめきました。一体どうしてこんなに嬉しがっていたのでしょうか?それは、目的地が一緒である同僚の存在そのもの、これこそ大きな嬉しさの一番の根拠だったと思います。

このような素晴らしいひと時を私たちに与えてくださった日本聖公会東京教区の大畑喜道主教様と管区総主事でおられる相澤牧人司祭様に、そして何方よりもまず愛と慈しみの神様に深く感謝いたします。



「第23回歴史研究者の集い」を開催

「聖公会歴史研究者の集い」会長 司祭 大江真道

第23回歴史研究者の集いを、5月29日(水)から31日(金)まで、静岡県下田市「開国下田みなと 道の駅」の4階にある会議室を借用して実施した。今回は今までの合宿方式ではなく、学会一般で実施されている参加者が各自で宿泊所を確保しての方式で実施した。道の駅の会議室の都合で木曜日は予約済みなので、中日の

30日をフィールド・ワーク(史跡探訪)にし、研究発表は29日の午後3-5時と31日の午前9時半から正午まで行った。初日の発表は垣内茂司祭「伊豆半島における聖公会宣教概略史」、諫山禎一郎氏が「ゼームス・ハインド宣教師について」報告。

中日の30日は、例年より早い梅雨のため前日

からの雨のなかを、2つのグループに分かれて史跡を探訪。特に午前は日露和親条約を結んだ場所、長樂寺など各所を訪ね、午後は日米和親条約で最初の米国領事館になった玉泉寺本堂で、住職夫人とハリスについて懇談した。玉泉寺発行の「ハリス」の冊子にはハリスや唐人お吉の虚伝を訂正した真正のハリス像、女人群像について言及されている。雨のなかを境内の米国水兵の墓、左側の山裾のロシア水兵の墓も見学。

最後の31日の研究発表は、根谷崎武彦氏（横浜山手聖公会）の「歴代聖公会聖歌集にみる「イエス」の呼称の変遷」、西口忠氏（大阪教区歴史編集委員・桃山学院史料室）の「『あかしびとたち-日本聖公会人物史』の編集経緯から」、大江真道司祭の「京都教区再生の功労者、奥山市三と一家の歴史」。以上で正午に解散。参加

者数は初日が11人、最終日にはさらに2人が参加。病気や他の都合で出席者は少なかったが、楽しく有意義な会となった。なお、歴史研究会世話人の大江が退任を報告し了承を得た。（写真提供・根谷崎武彦氏）



最近のカルト教団の動向から

— キリスト教会への接近 —

カルト団体が行なっている伝道方法と云えば、「街中を歩いているとき、突然見知らぬ人から声をかけられ、どのような団体であるかわからないまま入信する」というイメージがあるが、最近のカルト団体は少し異なる方法をもって自分たちの名を堂々と明らかにし、聖公会をはじめとする正統キリスト教会に正体を現わしている。

2012年8月末、東京教区教区事務所に通の手紙が届いた。私の勤務教会にもやはり同じ手紙が届いており、聖公会を含む多くのキリスト教会から手紙が届いたとの知らせがあった。手紙の送り主は「新天地イエス教 証拠幕屋聖殿（以下、新天地）」という団体。韓国で教祖李萬熙によって創設されたキリスト教系カルト団体で

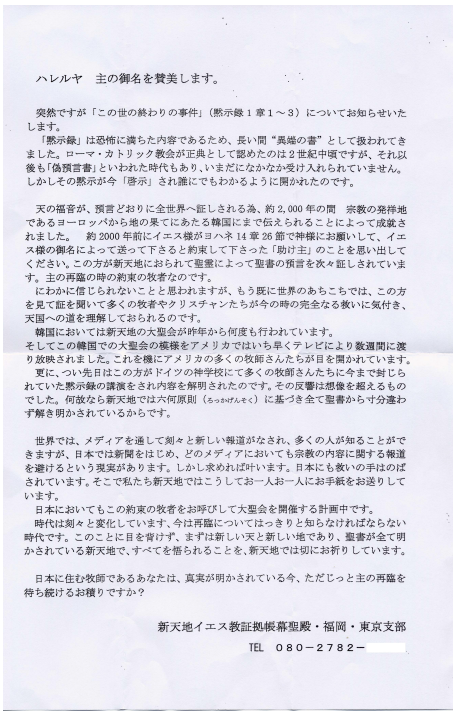
管区事務所宣教主査 司祭 卓 志雄

ある。手紙の内容は「日本にも新天地による救いの手がのばされている。聖書の真実が新天地によって明らかにされるので、日本の牧師たちはもうしばらく待ちなさい。」とある。

この団体は、聖書は例えと象徴からなっているとし、聖書の例えから悟らない人は救われないと教え込む。厳しい訓練を受けた人は既成教会の熱心な信者に成りすまし、そこで数年潜伏する。十分に信頼を得た上で、教会委員になり、気がついた時には仲間を増やしてその教会の牧師を解任し、教会委員を追い出し、新天地の牧師を連れてきて教会の財産と信者を丸々乗っ取る、所謂「山移し」という手法を使う。大韓聖公会のある教会にも一部の新天地の信者が潜入し「山移し」を試みたが、他のプロテスタント教会

とは違う政治制度である主教制のため諦めたという話もある。入信した信者は盲目的伝道活動を強いられ学業放棄、家出、離婚、家庭崩壊などの社会問題が起きている。聖公会についてはまだ被害の報告は確認されていない。現在のところ東京、福岡、長崎、山形で活動を展開しており、この団体に対する注意・警戒が必要である。

写真1：新天地から送られてきた手紙



また2012年春と冬2回にわたって聖公会を含む諸教会にグラシアス合唱団によるクリスマス・カンタータのポスターと招待券が送付されてきた。また今年2月には「マハナイン神学校」という学校の入学案内も送られてきた。郵便だけではなく、学校の関係者が直接東京教区事務所にも訪ねてきた。これらの内容を調べた結果、「喜びのニュース宣教会」という団体のものであった。国際青少年連合(IYF: International Youth Fellowship)を名乗る「喜びのニュース宣教会」は韓国生まれの「救援派」という団体の分派。自分たちの教義を悟った日こそが救われた日であり、生まれかわった日となると主張し、生まれかわった者は罪がなくなったので悔い改めの必要がないと、救いにおける神の絶対主権的な恵みである思想が薄い。「命の御言葉宣教会」という他の「救援派」の分派を合わせて15の教会が現在日本において活動を展開している。



写真3：送られてきたクリスマス・カンタータの招待券



写真2：東京教区事務所に届いた手紙の封筒

キリスト教会に近づく団体として、日本で猛威をふるっている韓国発祥の異端的キリスト教系団体の元祖である「統一協会」も例外ではない。2013年5月、筆者の教会に冊子小包みが届いた。差出人は地域の統一協会。内容物は文鮮明氏の自叙伝「平和を愛する世界人として」であった。新大久保、新宿、渋谷で何冊ももらった自叙伝と変わらないが、本の帯に「70万冊突破」と書いてあった。周りの教役者にも連絡を

取ってみたが、やはりそれぞれの教会にも同じ本が届いたという。このような配布の仕方であれば70万部突破も難しくなかっただろう。送り状には本の中身の一部分を紹介しながら『(前略)宗教者こそお互いに兄弟として手を取り合い、「人類大家族理想」実現の先頭に立つべきではないかと考える次第です。(中略)この小さな一冊の本が、宗教者の歩み寄りと団結を促し、人々に「人類大家族理想」の実現に向かう希望と勇気を与えることが出来るならば、と願っております。(後略)』と書いてあった。

去年教祖文鮮明氏が死亡したにもかかわらず未だに 正体を隠した勧誘やマインドコントロール、靈感商法による金銭被害や合同結婚の強制による婚姻の自由の侵害などの被害が絶えない現状である。「全国靈感商法対策弁護士連絡会」によると、1987年以來26年間、各地の弁護士や消費者センターに寄せられた被害相談の件数は、おおよそで3万3千件。被害金額は約1147億円を超えているが、この金額は全体の被害の氷山の一角でしかないと言う。

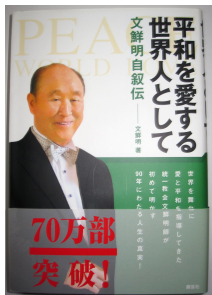


写真4:「文鮮明の自叙伝」

カルト問題に対する私たちの立場

マインドコントロールによって気づかないうちにカルトに陥り、神様にかたどって創られた尊い人間の存在が全く否定され魂が苦しめられ、家庭が崩壊し、経済的、精神的、肉体的なあらゆる被害に遭ってしまう被害者の人権を守ること、人権回復の活動は多くの病人を癒された主イエス・キリストの宣教の一環である。また社会におけるキリスト教会に対する不信感を抱かせ、また教会

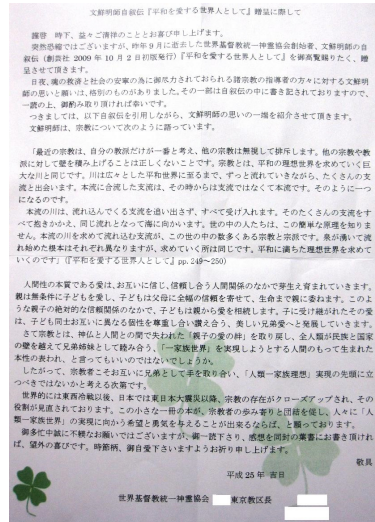


写真5: 送り状

の内部にも分裂を起こさせているカルト団体に対して日本聖公会も正義と平和委員会を通して以下のような立場をすでに表明したのである。カルト問題に対するわたしたち聖公会の認識を改めて確認しておこう。

「(前略)正義と平和委員会は、この世界で小さくされている人びとと共に歩むことを願って、昨年の総会で立てられた委員会です。わたしたちは、統一協会という他宗教の信仰内容を問題視しているではありません。統一協会によって被害を受けておられる方が、現にわたしたちの周りにおり、そして今後も被害を受ける人びとが生まれる可能性のあることを、わたしたちは深刻に受けとめざるを得ません。」



青山霊園・日本聖公会承継（使用）墓地の清掃と 墓参の祈り

管区事務所職員 金子登美江

6月5日（水）、相澤総主事のお声掛けかりのもと、青山墓地内における日本聖公会が承継（使用）している外国人墓地の清掃及び墓参の祈りを捧げるため、管区事務所関係者が朝の外苑前駅に集まりました。外国人墓地の清掃は今年で4年目を迎え、管区事務所初夏の行事にと定着しつつあります。

青山墓地は六本木、原宿、渋谷からも近く、都内の一等地と言っても過言ではない場所に位置しています。開設は明治7年。面積は約26ヘクタール。墓石が立っていることを除けば緑が茂る広大な公園です。園内には桜並木や大きく育った樹木が気持ちの良い木陰を作り、何十年も掛けて育った草花が自由に生い茂っています。自然であること、多様であることの美しさを感じます。

などと自然の素晴らしさを称えていられるのも束の間。墓地清掃は意外と重労働で、頑固な雑草や乱雑に育った樹木を抜いたり刈ったりの大立ち回りとなります。梅雨入りしたのが嘘のような炎天下、腰を曲げ地面を見据え、慣れない作業で汗だくになりながら、草木と格闘するうちに皆が寡黙となり…。10名が約2時間掛けて働き、出たゴミは70ℓの袋20～30個分。へとへとになった頃に清掃を終えました。



しばしの休息の後、相澤総主事が式服に着替えられ、墓参の祈りの時を持ちました。8つある墓石の内の一つ、木陰に静かに佇む蕙の模様が彫られた十字型の墓石を皆で囲み、準備した式文を各自持ち黙祷。風が流れ、木々がさわさわと揺れます。時々墓石を見上げながら日本聖公会創世期に携わった宣教師の方々を覚えゆくりと祈りました。



100年以上前、言葉も文化も違う異国の地に降り立った宣教師達の心境や、宣教の種を蒔かんとする情熱に思いを馳せると、こうして墓石の前で祈りに預かっている私は、宣教師やそのお働きを継承してくださった日本全国に眠るキリスト者の信仰の中に存在しているという尊い事実気付かされます。炎天下での清掃は大変でしたが、時代を超えた深い恵みを感じる心豊かな墓参の時となりました。感謝。

鉄道と代行バスで巡った南三陸の現在

管区事務所職員 ノア 大岡 基

2013年5月25日(土)に「いっしょに歩こう! プロジェクトの2年~感謝と祈り 聖餐式」を仙台基督教会仮礼拝堂で終えた後、ここからは私時間と決めて、鉄道と代行バスで被災地を巡ることにしました。これまで車で被災地に入ることはあっても、鉄道で行ったことがほとんどなかったからです。

長谷川清純司祭が「帰ってこれなくならないようにね」とおっしゃった通り、綿密に計画しなければ立ち往生する可能性があります。それだけ鉄道は未だ災害によって寸断され、不通区間を残したままなのです。

一日目は仙石線の旅。仙台駅のお隣「あおば通駅」から石巻方面へ進みます。この路線も「松島海岸駅」から「矢本駅」までの区間が代行バスによる運行になっています。

石巻に近づくにつれて震災の爪あとが色濃く残っています。そんな中、沿線には住宅が建ち始め、牡蠣養殖に使用するホタテ貝殻の仕掛け(未使用のもの)が積み上げられているのを見ると、ここに生活の匂いがよみがえりつつあることを感じました。折しもこの日、女川駅周辺再開発計画の住民説明会が行われたそうです。



浦宿(うらしゆく) 駅ホームから女川方面を見る。
線路は途切れたまま。

二日目は大船渡線と気仙沼線の旅。一ノ関駅

(岩手県)から大船渡線で気仙沼駅へやってきました。この地の産業の中心気仙沼港周辺は土埃が舞い上がる状態のままでした。ここに要塞のように堅牢な防波堤を建設するのか、産業の再興を優先させるのか、未だに意見がまとまらないまま時間が過ぎていっています。

大船渡線は気仙沼駅から盛駅までの区間が不通です。私はBRT(線路があった場所を一部専用レーンにして走る代行バス)に乗って、気仙沼線が通っていた経路に沿って柳津駅を目指しました。この区間は南三陸の中でも特に被害の大きかった海岸線の一つです。当初はバスではなくあくまでも鉄道の復活を望む声もあった訳ですが、素人の私が見る限りとても鉄道を再び敷設できるような状態ではありません。陸前小泉駅。何にもない海岸線に橋脚だけがむなしく残されています。歌津駅。こんな高台にあったのに…。志津川駅。悲劇の舞台になってしまった南三陸町防災庁舎のあたりはほとんど手つかずのように見えます。

ここまで、駅舎があった場所や線路跡を撮影したりしてきましたが、「2年経ってこれかよ…」と思うとせつない気持ちになって写真を撮ることができなくなってしまいました。同じBRTに乗り合わせた(私と同じ年格好の)男性もカメラをしまっていました。たぶん私と同じような気持ちになったのではないのでしょうか。



廃虚の中の歌津(うたつ) 駅にて

鉄道沿線はその地域の文化や産業を映す鏡です。生命線といってよい地域さえあります。産業の再興と人口の増加に鉄道網の整備が寄与

するところは大きいはずですが。この地の復興への道のりの長さを、今回の旅で改めて感じました。



気仙沼駅にて



野蒜(のびる)駅があった場所

世界への窓

信徒の誕生
二つの報告

新たな信徒の誕生に関して、対照的な二つの記事を紹介いたします。

スーダン聖公会 「スーダン聖公会」は北部のスーダンと南部の最近分離独立した南スーダンから構成されていて、28の教区から成っている。この一つのワウ教区の教区主教は5月下旬教区を巡回しながら8日間にわたり2000名の信徒に按手をした。新たに按手された信徒の大半はクリスチャンホームで育った人ではなく、成人してから信徒になった人たちとのこと。この人たちにキリスト教の理解を深める宣教教育をしなければならないが、それ以上に教区にとって重要な課題は教区に所属する65名の聖職の質を向上することにある。こ

の按手式のために交通事情が良くない所では2日間徒歩で来た人がいると記載されている。驚かされたのは短期間にこれだけ多くの新しい信徒が生まれたことである。

インド洋聖公会 アフリカ大陸の東に位置するモーリシャス島と周辺の島々で構成される「インド洋聖公会」の教区の一つ、モーリシャス教区での信徒按手式を紹介します。今年の聖霊降臨日、5月19日にモーリシャス教区主教により3名の青年が按手を受けた。スイラックという村にあるこの小さな聖ルカ教会に新たに3名の信徒が生まれたことは、信徒数が少ないこの教会にとって新たに教会が生まれたことに匹敵する出来事とのことである。 参考記事：ACNS Digest 6月10日 “2000 South Sudanese confirmed”, ACNS Provincial News, Diocese of Mauritius, 5月27日

(記・渉外主事 八幡眞也)

SEA SUNDAY
14 July 2013

For leaving your loved ones behind.
愛する人びとを離して

For enduring the high seas in all weathers.
海上の厳しい天候に対峙し

For suffering isolation.
さびしさを忍び

For working long hours day and night.
昼夜の長期労働を継続し

For facing the harshest conditions.
最も厳しい環境に対応して

For doing all of this, to bring us the necessities of life.
我々が必要とする糧の海上輸送に
取り組んでいる船員の方々に

Thank you.
感謝

海の主日

www.missiontoseafarers.org · www.seasunday.org

THE MISSION TO SEAFARERS
Caring for seafarers around the world
Charity No. 1228213

日本聖公会

「毎年7月の第2主日を『海の主日』として守ること、当日の信施を奉獻すること」が日本聖公会総会で決議されています。

海の仕事に従事している人々の福祉と安全のため、またその人々のために奉仕しているミッション・トゥ・シーフェアラーズ (MtS) の活動のためにお祈りください。

「海の主日」の特禱

全能の神よ、あなたの道は海の上に、あなたの歩かれる小路は大海の上にあります。

どうか、深い淵の上で多くの危難に出会う人々と共にいてください。彼らをすべての危険から守り、その航海を幸いなものとし、主のいつくしみを感謝しつつ、ついに望む港に着くことが出来ますようにお導きください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

日本聖公会管区事務所ホームページ：<http://www.nskk.org/province/>
☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメールでお寄せください。
広報主事（鈴木）宛て